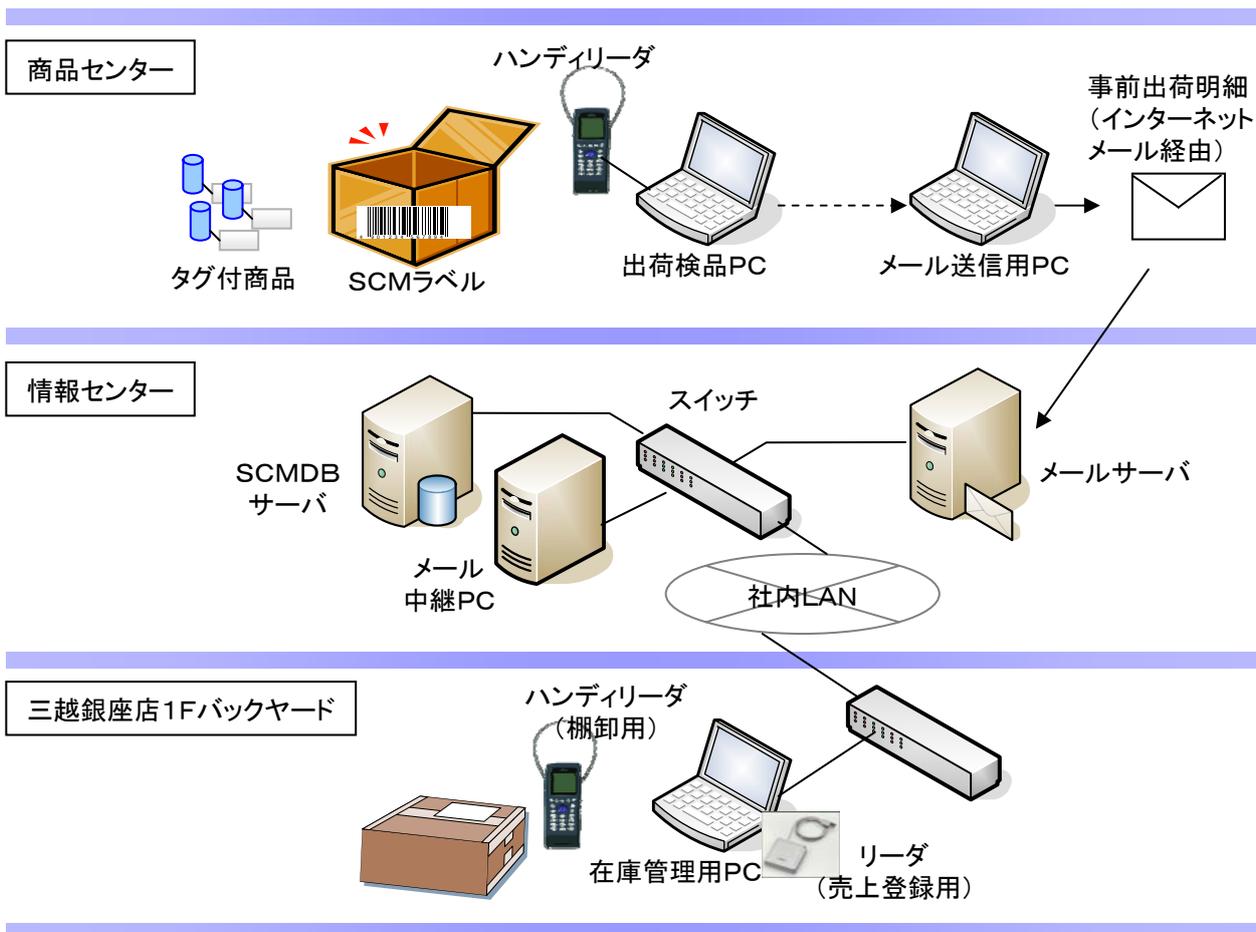


④ ソースタギング・SCMシステム ご説明資料

1. システムの目的

商品センター出荷段階で該当商品情報がエンコードされた電子タグを貼付することでソースタギングを前提とする実験環境を実現する。ソースタギング・SCMシステムでは、タグ付商品の出荷、入荷、売上という一連のプロセスでタグの読み取りを行うことでリアルタイムの在庫管理を実施する。

2. システム構成



3. システムの特徴

- ・既に2Fのジーンズ売場(ニューヨークランウェイ)で導入されている電子タグを利用したSCMシステムを流用して実験環境を構築した。
- ・既存のSCMシステムでは電子タグには商品情報をエンコードせず、出荷時に電子タグの固有IDとバーコードの商品情報を両方読んで紐付けしているが、本システムでは電子タグの固有IDとタグ内にエンコードされた商品情報を一度に読み込むため、その部分の作業効率化が図れる。
- ・今回は本格的なソースタギングではなく、商品センターにおいて商品とタグの貼付作業を人手で実施するため、電子タグの媒体(シール)上に、商品コードの一部を印字し、どの商品にどのタグをつけるべきかを目視でチェックできるようにした。
- ・タグを利用した個品単位の棚卸機能により、運用中のバーコードによる在庫管理システムで行われている論理在庫数を検証できるようにした。

